

【立体作品と展示・設置する場所との合成写真を作成して鑑賞する】



生徒が制作した作品を合成した画像1



生徒が制作した作品を合成した画像2

活用場面

一斉学習

教師による教材の提示

個別学習

表現・制作

家庭学習

協働学習

発表や話し合い

活用した機器等

Chromebook

プロジェクター

活用したアプリ等

Google Classroom

Google スライド

カメラ機能

removebg

学習のねらい

ものと場所がもつ意味や関係について考え、新鮮な視点で作品を作りだし、環境の中の彫刻の働きについて理解を深める。

学習の流れ

導入 宿題として、作品を展示・設置する場所の写真を撮影し Classroomで提出する。
その場所にふさわしい立体作品のアイデアを練る。

展開 マケット(小型の立体模型)をスタイロフォーム(美術素材)で制作し、着色ができた作品をChromebookのカメラ機能で撮影する。宿題として提出した写真と制作した作品の写真をGoogle スライド上で合成する。
作成したスライドを用いて自分の作品についてのプレゼンテーションを行う。

まとめ Google スライド上で閲覧することで、完成したそれぞれのスライドを全員で鑑賞する。
良かった点を感想シートに記入する。

ココでICTを活用!

展示・設置する場所の写真を宿題として、Classroomで提出させた。自分で撮影した写真だけではなく、ダウンロードした写真の使用も可とした。宿題として提出された画像はドライブに保存されるので、その後のスライド作成時にも活用できるようにした。

発表用の合成写真を作るために、Chromebookのカメラ機能を使用し、写真から背景を削除するために下記のオンラインサービスを使用した。

removebg (<https://www.remove.bg/ja/upload>)

作成した写真と、宿題として提出した写真をGoogleスライド上で合成し、作成したスライドを用いて題材の最後にプレゼンテーションを行った。

活用のメリット、実践の工夫・振り返り等

宿題の提出から発表にいたるまで、1台で様々な管理・作業を行うことが出来、非常に便利であった。1人1台を使用できれば時間のロスも少なく、より効率的に授業が行えると思う。

Chromebookと美術の相性は非常に良いと感じる。今後も以下のような活用法を実践してみたい。○アイデア段階・・・画像検索・透過pngのオンラインサービスを使用したフォトコラージュ。○制作時・・・技法の参考動画の視聴・コマ撮りアニメーションの作成する(日文 KOMAKOMA)。○まとめ・発表時・・・Classroomを使用して感想シートを配布し、カメラ機能を利用して、3年間のポートフォリオを作成する。○鑑賞の授業・・・Classroomでワークシートを配布し、検索しながら記入する。